

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	企業局東部事務所	氏名	飯塚 伸二
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 もりふれ倶楽部		
<p>① 研修の日時</p> <p>I. 7月15日（月・海の日）出雲市佐田町 目田森林公園</p> <p>II. 9月20日（金）飯南町来島地区〔午前〕同地区山林 〔午後〕島根県立農林大学校（中山間地域研究センター内）</p> <p>III. 9月23日（月・秋分の日）松江市東出雲町 出雲郷幼稚園うぐいす山</p> <p>IV. 11月6日（水）仁多郡奥出雲町阿井地区内山林</p> <p>V. 11月26日（火）松江市母衣町 松江市立母衣小学校 計5日間</p> <p>② 研修の内容</p> <p>I. 目田森林公園内 遊歩道整備及び園内枯損木伐倒作業</p> <p>〔午前〕</p> <p>夏季のキャンプシーズンを迎えるにあたり、目田森林公園内の遊歩道の終点にあたる山頂広場の草刈り・集草作業を実施しました。雨の降る中山登りした後の過酷な作業でしたが、胸高まで伸びた雑草等を刈り取り、きれいに整備することが出来ました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>〔午後〕</p> <p>公園内のナラ枯れ損木を4本伐倒しました。これらはそのまま放置すれば倒壊し公園利用者等へ危険が及ぶことから、ボランティアの方がチェーンソーで切り倒した後、散乱した倒木の片付けや道路の清掃を行いました。</p>			



II. 出雲農林高校林業体験

島根県立出雲農林高等学校環境科学科1年生30名（うち女生徒2名）に対し、「林業を体験し、林業を考える」をテーマに、飯南町来島地区の山林において、林業に関する仕事を体験してもらうことで、林業への知識や興味を持って貰えるよう指導を行いました。

（研修内容は主に写真撮影で、生徒と同じように林業への興味を深めることを目的）

[午前]

a. 間伐体験

良質な材木を育てるために、山腹に植林した樹木を適度に間伐し日当たりを良くする作業であり、ロープと滑車を使い、切り倒す方向を生徒達自らに考えさせたりして、間伐作業を体験しました。

b. 集材体験

間伐により倒した樹木を集める作業であり、急な斜面での運搬作業の大変さや、PC ウインチを使っての引き上げ作業を体験しました。

c. 枝打ち体験

節のない良質な材木を作るのに必要不可欠な作業であり、生徒達が実際に梯子と安全帯を使って地上5～6m地点の枝打ち体験を行いました。女生徒も参加しての初の体験で、危険な高所作業で大騒ぎでしたが、興味を持った生徒も多数いました。



〔午後〕

午後は島根県立農林大学校林業科（中山間地域研究センター内）に行き、学校の説明を受け施設見学を行うことで、高校卒業後の進路の選択先として興味を持って貰うとともに、将来は林業に携わる人材となって貰うよう働きかけました。

私自身県職員でありながら、なかなか行く機会のない中山間地域研究センターに以前から興味があったこともあり、木材をふんだんに使った広大な施設に圧倒されました。



Ⅲ. 松江市出雲郷幼稚園うぐいす山間伐作業

東出雲町出雲郷幼稚園の裏山（うぐいす山）において、広葉樹の間伐作業を行いました。

3日間にわたる作業の最終日であり、景観を考慮しての間伐やカズラ取り、あるいは山腹斜面の清掃等を行い、環境保全や自然とのふれ合いの場の提供に寄与しました。



IV. 松江市立母衣小学校 みーもスクール（ネイチャートレーニング、シイタケ栽培見学）

母衣小学校5年生90名が2グループに分かれて、1班は宍道町ふるさと森林公園内で植物の勉強を行い（ネイチャートレーニング）、もう1班は奥出雲町阿井地区の山林でシイタケ栽培の現場を見学し併せて間伐の体験をしました（午前と午後で班を入れ替え）。その後ボランティアの方が調理したシイタケの煮物を頂き、普段はシイタケが苦手な子どもも「シイタケ美味しい！」と言いながら喜んで食べていました。

（当日は、写真撮影と子ども達の安全監視を担当）



V. 松江市立母衣小学校 みーもスクール（紙すき体験）

母衣小学校に対し1年間にわたり行ってきた「みーもスクール」の最終回として、杉の皮を使った「紙すき」を体験して貰いました。90名を3グループに分けて、それぞれ1～2時間目、3～4時間目、5～6時間目と1日掛けて行いました。

私自身も紙すきは初体験で当初は見学気分でしたが、NPOの方も3名しか来れなかったことから、2班目からは私が子ども達に手本を見せるはめになってしまいました。当日は午前中で帰るつもりでしたが人手が足りず結局最後まで付き合いましたが、NPOからは大変感謝されました。また、私の職場が浄水場であり、山林の荒廃を防ぎ自然を守ることが森林の保水力を高め渇水や洪水を緩和したり、水道の元となる河川水が清浄になること等の話をさせて貰いました。



子ども達は、「紙すき」という古き文化に触れることで自然や樹木に対する新たな発見があり、まさに「温故知新」の精神を身をもって体験した貴重な時間でした。



③ 研修の感想

〔派遣先 NPO の活動に対する感想〕

今回派遣先になった「もりふれ倶楽部」は、森林内での様々な活動体験や森林環境教育を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深めることを目的に設立されています。現在は、宍道町ふるさと森林公園を中心とした、自然工作や自然体験を通しての里山環境保全の普及啓発活動、また森林ボランティア活動や里山生活者支援活動が活動の柱であり、今回参加させて貰った活動を含め、「里山再生」について様々な手法や関わり方があることを知ることが出来たことは非常に参考になりました。

〈具体的な活動例〉

- ・小学校や一般の方を対象とした木や竹を使った工作や料理教室、出前講座、自然観察会
- ・昔ながらの紙すきを体験することで木に対する新たな発見を促す
- ・間伐や伐採等で山林を保全し、また自然とふれ合う場を提供する
- ・林業従事者に対し、機械器具等の講習会の開催（チェーンソー目立て講習等）
- ・林業の啓発活動や、将来若者が林業に携わるためのきっかけ作り
- ・他の類似団体が行う自然を対象としたイベントへの協賛・協力

私自身も母衣小学校みーもスクールで述べたように、職場が浄水場であり、河川上流部の山林自然の保全を行うことで、水道水となる河川水の清浄や水量が確保されていることを改めて痛感したところです。ただ、これらがボランティアやNPO活動で維持されている現状は複雑な想いがあります。

今回の「もりふれ倶楽部」については、冬期以外はほぼ毎週土日や休日に何らかのイベント活動をされているほか、平日でも小学校への出前講座等（みーもスクール）を県下全域（益田や六日市、邑南町等まで）にわたり開催されており、その姿勢には非常に頭が下がる思いでした。研修が始まるまでは何となくNPOに対し良くないイメージがありましたが、非常に精力的に、またある時は私生活を犠牲にしてまで活動されていることが今回の研修でよく分かりました（全てのNPOが同じとは限りませんが・・・）

[研修全般に対する感想]

(良かった点)

- ・私自身にとって、5回以上の研修への参加は厳しいものがあったが、派遣先 NPO がほぼ毎週のように何らかの活動をされていたことから、何とか決められた回数を参加出来た。
- ・私の他に同じ派遣先への研修生が2名いたことで、活動計画の情報収集や活動報告等をやり取りし様々な情報交換が出来た。また、他の研修生の活動状況が知れたことは非常に大きな励みとなった。
- ・派遣先の NPO が良い方ばかりで暖かく迎えて貰い、また急なキャンセル等も快く聞いて貰えた。

(悪かった点)

- ・大多数の他の研修生とは違い、課長という立場で、またそれ相当の年齢であるため、通常業務が忙しく、また土日・休日も子どもの学校活動やスポ少、地域の自治会活動等で終日空いた日が殆どなく、たとえ最低5回の研修とはいえ参加することが難しく、通常業務へ支障を及ぼした感があった。
- この研修が始まる際には、極力時間が許す限りイベント等に参加しようと考えていたが、いざ始まるとそれが叶わない現実があった。

④ その他特記事項

- ・最初に行われた研修説明会の場で初めて5回以上の参加義務があることを知った。たまたま今回の派遣先が数多くのイベント活動をされていたことから何とか参加出来たが、派遣先や研修生の状況によっては決められた回数を参加出来ない場合も考えられる。本研修の参加者希望を募るうえでは、予め周知しておくべき内容ではないか。
 - ・今回の派遣先は第2希望であり、たまたま良い派遣先であったが、第1希望とした NPO は企業局が事業委託を契約している団体であり、視点を変えて NPO 側から見てどのような風景が見えるのか興味があり希望したのが理由であった。他の研修生についても、通常業務の延長線の関係機関への派遣を第1希望としたが、結果的に希望とは異なる派遣先となったとの話しも聞いた。
- 調整する担当課は大変とは思いますが、何となく派遣先を選定したのではなく、明確な理由を持って第1希望先を選んだ場合もあると思われるので、第1希望先への派遣が叶わない場合には、本人への意向調査や聞き取り等あっても然るべきではないか。

以 上

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。